

# 5区補選に勝利し「えさき」圧勝につなげる



全日本自治団体労働組合  
北海道本部  
〒060-0806 札幌市北区  
北6西7北海道自治労会館  
電話 011-747-3211  
FAX 011-700-2053  
編集・発行 佐々木直人

## 4月12日告示・衆議院北海道5区補欠選挙 暴走する政権止める

衆議院北海道5区補欠選挙は、4月12日(火)告示、24日(日)投票日として行われる。安倍首相は「憲法改正を在任中に成し遂げたい」と表明し、7月に予定されている第24回参議院議員選挙で、改憲の発議に必要な3分の2の議席をめぐり争っている。安倍政権による憲法の破壊を決して許してはならない。5区補選は参議院議員選挙の前哨戦と位置づけられ、真の民主主義・立憲主義を取り戻し、暴走する安倍政権を止める極めて重要な政治決戦となる。



「希望の持てる社会をつくる」と訴える＝「池田まき」候補予定者

特定秘密法の制定、武器輸出三原則の改悪、集団的自衛権の行使、そして安全保障関連法案の強行採決など、現行憲法の基本理念である平和主義、国民主権、基本的人権を蔑ろにし、民意監視のなかで強硬に押し進めてきたのが安倍政権である。

### 朝風

憲法改正が参議院選挙の最大の争点となるが、このたまたかの前哨戦が衆議院5区補選である。世界の平和を守るのか、戦争への道を許すのか、天下分け目の関ヶ原戦となる。

池田まき・衆議院5区補選候補予定者は、街頭演説を中心に精力的な活動が続けている。4月2日には連舫参議院議員が来道し、札幌市・恵庭市などで政策を訴えた。連舫参議院議員は「アベノミクスによって、労働者の賃金や社会保障費が削減され続けている。多くの国民が貧困に陥っているが、安倍政権は『池田まき』さんや国会に送り、国民の生活実態や声を安倍首相に届けてもらう」と呼びかけた。池田まき・候補予定者は「さまざまな理由で、多くの国民が貧困に陥っているが、安倍政権は『池田まき』さんや国会に送り、国民の生活実態や声を安倍首相に届けてもらう」と呼びかけた。

衆議院5区補選を勝利し、参院選での自治労組織内全国比例代表「えさきたかし」、北海道選挙区「徳水エリ」の圧勝につなげるため、各種取り組みを強化しよう。



連舫参議と街頭演説を行う＝4月2日

## 北海学園との連携講座を実施 将来的な人材育成に期待

道本部は北海学園大学と連携し、公務員をめざす学生を対象に、地方自治体の現状や課題を知ってもらうことも

昨年、社会科学特別講義「地方自治体の仕事と労働組合」として計15回の講義に講師を派遣した。2年目の開催となる



昨年の社会科学特別講義の様子

今年、「自治労」の地域貢献として宣伝するとともに、①自治体のまちづくり、②国の政策と地方自治、③地域のくらし・生活、④地方公務員と労働組合等をテーマとし、4月8日から毎週金曜日、計15回の講義に講師を派遣し、地方自治体で働くことの意味と意義や自治体が抱える問題と労働組合の役割についてメッセージを送る。この取り組みが地方公務員と労働組合に対する社会的認識の向上と、将来的な人材育成に繋がることを期待したい。

## 投票に行こう!

### 衆議院北海道5区補欠選挙

(札幌市厚別区、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村)

告示日 4月12日(火)

投票日 4月24日(日)

#### ■告示の翌日から毎日が投票日

投票日に予定がある方は「期日前投票」ができます。あなたの1票をムダにせず必ず投票しよう!

(投票期間) 告示日の翌日から投票日の前日まで(土日も含む)

(投票時間) 原則、8時30分から20時まで

### JICHIRO スケジュール

4月  
19日(火) 戦争をさせない総がかり行動(札幌市)  
22日(金)～23日(土) 自治労年金集会(東京都)

#### 道本部ホームページ

自治労北海道 ユーザー名: minnade  
組合員専用ページは パスワード: danketsu2013

## えさきたかし奮闘記 人の明日を咲かせよう⑩

### 安倍政権と、対峙する決意を込めて代表質問に登壇



参議院本会議で代表質問を行う＝2014年1月30日

2014年1月24日に第186回通常国会が召集され、1月30日の参議院本会議では、自治労の仲間の思いを代弁する決意で施政方針演説に対する代表質問に立ちました。代表質問では、2013年末に強行採決された特定秘密保護法について、あらためて廃案を求めることにも強引な国会運営で採決に持ち込んだことについて追及しました。また、非正規雇用対策について、行きすぎた規制改革の結果、大きな問題となっている非正規雇用の現状や問題点に対する総理の認識と、政府が掲げている雇用者報酬対前年度比2%増を実現するための対策について質しました。地域の活性化については、地方の持続的な安定と発展さらに地方経済の好循環の実現のために「小さな政府」シンドロームから脱却し、医療・介護を支える公共サービスを充実させ、よって地方に安定した雇用を生み出すことの必要性を訴え、質問を結びました。

また、米国をして「失望した」と言わしめた靖国参拝など、総理が姿勢をあらためない限り外交的孤立が解消することとはなく、そのような中で集団的自衛権の容認を急進させれば、国益を大きく損なうことを強く指摘しました。

主権は国民

# 選挙で意思表示

## 連合北海道が「憲法学習会」

連合北海道は3月30日、札幌市・ホテルポールスター札幌で、第1回「憲法学習会」を開き約110人が参加した。

主催者の岡島・連合北海道副事務局長は「2カ月に一度、憲法学習会を開いていく。平和・軍縮にむけた取り組みを強化する」とあいさつした。

その後、上田文雄・弁護士(前札幌市長)が「憲法のイロハく民主主義と立憲主義」と題して講演した。

上田弁護士は「憲法とは、国民の基本的人権(生命・自由・財産)を守るため、国家権力を制限する規範である。権力の暴走を防ぐために三権分立があり、それが政治を変える手段は選挙しかない」と強調する上田弁護士=3月30日、札幌市



政治を変える手段は選挙しかない」と強調する上田弁護士=3月30日、札幌市



約110人が参加し学習を深めた

立憲主義の根本だ」とも、殺すこと「もなかつたうえで、三権分立(権力分立)の規程のない国は、憲法を持つていない国といえる」と強調した。

また、「戦後70年、日本は戦争を放棄し、自衛隊を戦地に出すことなく、『国民が殺されること』を、最後に、『政治を変えた』

「殺すこと」もなかつたが、その歴史が覆されるしかない。主権者は国民であることを自覚するのであれば、必ず選挙に行つて意思表示をするのが大切だ。平和主義・憲法を守るため、力をあわせてたかおう」と訴えた。

## 診療報酬改定 働き方が変わる?



集会には31単組・総支部、75人の仲間が参加した

道本部衛生医療評議会は3月26、27日、自治労会館で「2016全道病院集会」を開き75人が参加した。

白井・自治労本部衛生医療評議会事務局長が「診療報酬2016労働組合は、何ができるのか?」と題して講演した。

白井事務局長は「今回の診療報酬改定は、病院での私たちの働き方そのものが変わる可能性がある」と述べた。

事例報告では、「松前町立松前病院における独立行政法人化の動向」、「厚沢部町国保病院の現状と今後の方向性」、「嘱託職員の組合加入の経緯」について報告があった。

2日目は、平野・木古内国保病院事務局長が「新病院改革ガイドライン」と公立病院改革プランへの対応」と題して、旧病院改革ガイドラインとの違いやプラン策定のポイントについて説明した。

その後、「看護現場の現状と課題」、「公立病院対策」の分科会に分かれ、議論した。

最後に、佐々木議長が「今回学んだことを、単組・職場に持ち帰り今後の取り組みに活かしてほしい」とまとめた。

# 『消防協』結成に支援継続



## 職場だより

【渡島地方本部発】長万部町職労では、『消防職員協議会』の結成にむけた取り組みを進めていきました。組合結成案が出された時から長期にわたり、取り組みが停滞していましたが、昨年中にオルグを2回開催し、2月22日・23日の2日間の日程で函館市消防職員協議

会・南渡島消防職員協議会・吉田本部組織拡大オルグ並びに渡島地方本部協力のもと、説明会を開くことができました。

説明会には2日間で消防職員20人中9人が参加し、労働基本権や協議会の活動及び役割について、じっくりと共済による可処分所得の確保について耳を傾けていました。

また、消防職員の中には役場野球部所属の職員も数名おり、自治労野球大会への参加も魅力的に感じているようでした。

町職労としても、同じ町職員として働く仲間がともに支え合い、協力し合える環境をつくるため、1日でも早く『長万

部町消防職員協議会』が結成されることを望み、設立にむけた支援を続けていきます。

(長万部町職労・書記 長・嵯峨友和)



説明会には9人が参加し、熱心に耳を傾けた=2月22日

## 4月1日から 臨時執行委員が着任しました!

### 自治労運動の前進はかる

4月1日から、新たに臨時執行委員2人が着任しました。自主福祉活動の推進をはかるため、この間欠員になっていた、自主福祉担当臨時執行委員に眞壁英治さん(全道庁労連)連、「臨時・非常勤等職員10万人組織化」をはじめ組織強化拡大をはかるため、松本敦子さん(札幌市職連)が組織拡大担当臨時執行委員として任務に就きます。

全道の組合員のみならず、自治労運動の前進にむけて頑張ります。よろしくお願ひいたします。

■自主福祉担当  
臨時執行委員

眞壁英治



(全道庁労連)

■組織拡大担当  
臨時執行委員

松本敦子



(札幌市職連)

## 忙中余話

道本部に着任早々の2012年12月、突然の衆議院解散総選挙により民主党権が崩壊し、自公安倍政権が復活した。

労働基本権回復目前での廃案、労働法制の改悪、日々一生懸命がんばる一般国民には何の恩恵もないアベノミクスと格差拡大など、誰もが将来の展望できない日本になってしまった感がある。

さらに2014年12月の衆議院解散総選挙で、安倍の暴走に拍車がかか

道本部に着任、国民の反対を押し切り、憲法改悪と戦争のできる国に着手と進んでいる。

まさに激動の三年半だったが、2016年3月末をもって道本部専任を退任し、4月から学校勤務員として現場復帰することとなった。

また学校で子どもたちと関われることが楽しみであると同時に、そんな子どもたちが戦争に召集されることなく、平和な世の中が続くことを祈りつつ、7月の参議院議員選挙、そして自治労運動に携わっていききたい。

(苫小牧市職労・大西)

ささきさん 住宅ローン

生活応答大作戦

今だけ年1.8%

年2.7%

年2.9%

教育ローン[カード型]新登場記念

教育ローン(カード型)お申込みの方全員に

スタンドポーチプレゼント!

詳しくは(ろくろ)までお問い合わせください

北海道ささきさんコールセンター 0120-5-109-26

ささきさんの国会だより

3月27日民主党は維新の党と合流する結党大会を開催し「民進党」がスタートした。民進党は「自由・共生」「未来への責任」を掲げ、一人ひとりが大切にされ、安心して生活にむかふための進めなければならない制度に着手した。注目を集める道5区補選では池田まさ子予定者が「ふつろの人から、豊かになろう!」と訴えている。この思いを届け、たたくかに勝利しなくてはならない。平和主義を守り、格差拡大の是正を実現しよう!(3月31日、東京にて)

も、PPP・消費税を巡って党分裂を招き瓦解した。しかし「子ども手当」や「戸別所得補償」をはじめ、自治体への「一括交付金」など、将来に向かふための進めなければならない制度に着手した。注目を集める道5区補選では池田まさ子予定者が「ふつろの人から、豊かになろう!」と訴えている。この思いを届け、たたくかに勝利しなくてはならない。平和主義を守り、格差拡大の是正を実現しよう!(3月31日、東京にて)